

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな 経済フラッシュ

## (日本5月機械受注)

2019/7/8

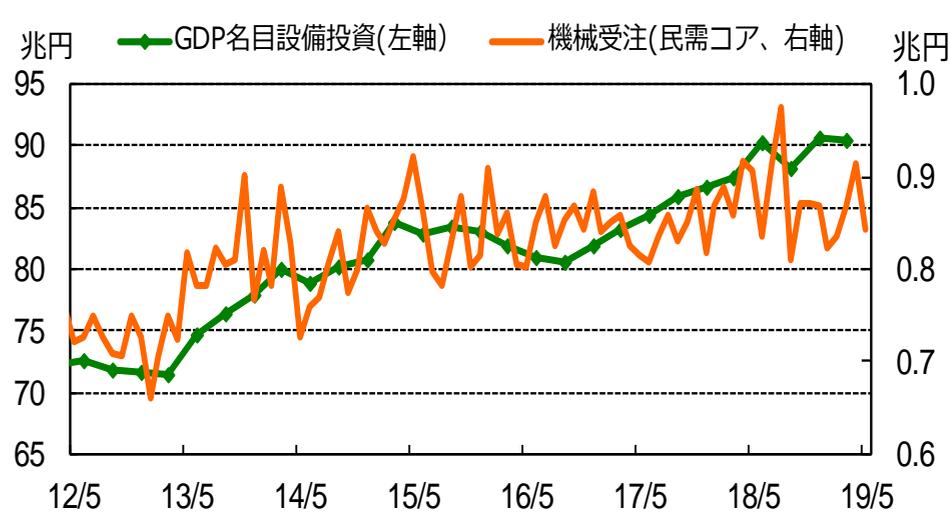
りそなホールディングス 市場企画部

### 〇概況

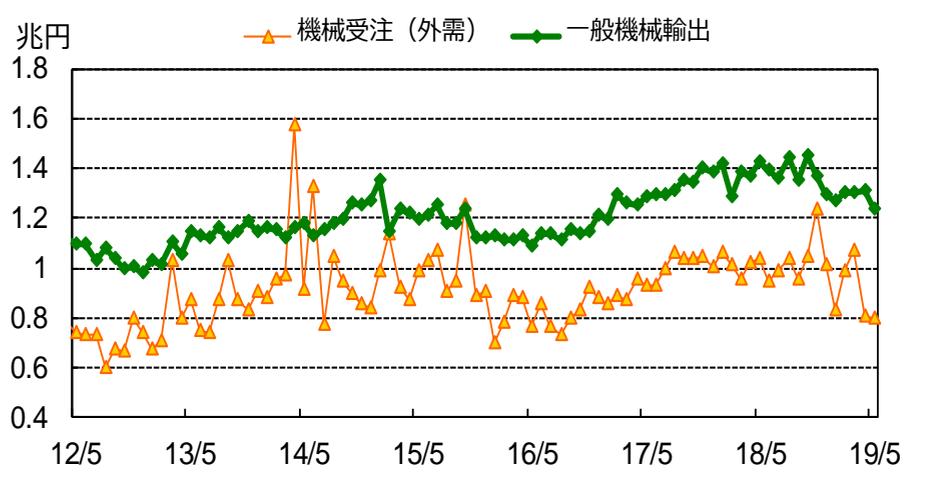
- ◆ 5月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比▲7.8%
- ◆ 4月が前月比+5.2%と強かったことで反動が出た可能性
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直しの動きがみられる」と据え置き

- ✓ 5月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比▲7.8%の8,429億円と、市場予想（▲3.8%）を下回り4か月ぶりのマイナスとなった（4月+5.2%の9,137億円）。ただし4月の増加が大きく反動が出た可能性もあるだろう。また今年の4・5月は連休影響もあり振れやすいともいえる。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「持ち直しの動きがみられる」と据え置き。尚、3月時点の民需コア4-6月期の受注見通しでは+15.7%と増加が見込まれている（1-3月期▲3.2%）。
- ✓ 5月の受注総額は前月比▲6.0%の2兆2,119億円（4月+4.3%の2兆3,520億円）。
- ✓ 製造業は▲7.4%の3,706億円（4月+16.3%の4,001億円）と減少。業種別では17業種中7業種が減少。造船業、金属製品、非鉄金属などが減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は▲9.0%の4,710億円（4月+1.2%の5,176億円）と減少。非製造業全体の業種別では12業種中7業種が減少。不動産業、運輸業・郵便業、電力業などが減少。
- ✓ 官公需は+19.5%の3,521億円（4月+93.4%の2,946億円）と増加。地方公務、国家公務等が増加。
- ✓ 外需は▲0.8%の8,015億円（4月▲24.7%の8,083億円）と減少。船舶、電子・通信機械等が減少。
- ✓ 代理店経由は+0.4%の1,315億円（4月+4.4%の1,310億円）と増加。電子・通信機械、道路車両等が増加。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項  
 本資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。